教員コレクション 2020

国語科 川﨑直樹先生「レコード・CD コレクション」















ものごころついたときに既にあったレコード

"Bing Crosby

[Merry Christmas] "

たぶん父親がかったものですが…ものごころついたときには家にあった気がします。小学生のころは一応、タンスみたいな形をしたレコードプレーヤーがあって、それで童謡などを聞かせてもらった記憶があります。「泳げタイ焼きくん」とか。このレコードは結婚するときに、実家からいただいてきたものです。おまけでついてる「ソノシート」(赤いペラペラの奴)が懐かしい。昔は本の付録なんかでよく見かけたものです。

小学生の時、初めて買ってもらったレコード

"「機動戦士ガンダム

オリジナルサウンドトラック」"

小学生6年の時、ガンダムにハマりました。多分、アラフィフの先生方はみんな同じだと思いますが。…で、当時はビデオデッキなんかなかったので、録音機をテレビに近づけ、母親と妹に「しゃべらないで」と念押しして、毎回録音してました。…で、こういうものをお年玉で買ってもらったわけですね。サントラを聞きながら、アニメの映像を脳内再生して喜んでいました。

中学1年生の時に一番聞いたレコード

"オフコース

「セレクション1978-81」"

当時はレコードが高かったので、主にラジオを聞いたり、録音したりして音楽の情報を仕入れていました。中でも好きだったのがオフコース。小田和正さんの歌声にしびれていました。中学校入学直後、最初に仲良くなった友達がピアノのうまい奴で、音楽の授業が終わった後、よくオフコースの曲を弾いてくれましたね。このレコードは、近所のレンタルレコード店で安売りになっていたのを買ったものです。



中学2年生の時に一番聞いたレコード

"Yellow Magic Orchestra

「Yellow Magic Orchestra」"

2年生になって親しくなった音楽好きの友人から「これを聞け」と薦められ、衝撃を受けた1枚。既に YMO は世界的に有名になっていて存在は知っていたけど、アルバムを通して聞いたのは初めてでした。アルバムの構成の素晴らしさとか、そんなことを教えてくれましたね。今でもよく聞きます。日本におけるコンピュータミュージックの元祖って言われてますが、僕は手弾きしている細野晴臣さんのベースラインが大好きです。初期の Y M O は骨太だと思います。

中学3年生の時に背伸びして聞いたレコード

"Stevie Wander

「Fulfillness' First Finale」"

当時の中学生は、海外のロック (いわゆる洋楽) を聞くのが主流で、私も友人からカセットテーブを貸してもらったり、テレビで「ベストヒット USA」を見たりしていろいろ聞いてました。このレコードは何かの雑誌で「名盤だ」と読んで聞いたのではなかったかなあ…。レンタルレコード店で借りて聞いたのですが、後悔したのを覚えてます。今聞くと素晴らしいと思うんですが、当時は解らなくて、ただ「眠い音楽だなあ」と思ってましたね。



高校1年生の時に一番聞いたレコード

"Casiopea

「Mint Jams」"

高校時代も私の周囲にはロック少年の比率が高かったのですが、僕は日本のフュージョンバンド「カシオペア」も中学時代から好きでよく聞いてました。友人は「フュージョン演歌」といって馬鹿にしてましたが。どちらかというとテクニックを前面に押し出したバンドが好きだったんですね、当時は。福井でのコンサートにも行った記憶があります。高校入学祝いにレコードプレーヤーを買ってもらって、それまでよりもいい音で音楽が聞けるようになったのがめちゃくちゃ嬉しかったです。

高校2年生の時に初めて買ったジャズのレコード

"Herbie Hancock

「Quartet」"

高校1年の終わりに病気をして修学旅行に行けなくなり、人との距離の取り方に迷ったりもして、高2の頃は人生で最も 鬱屈した日々を送っていました。それまでと違う自分、人と は違った自分になりたくて、でも動けないでイライラしてい た時期でしたね。たぶん、そういうのがあったから、それま で聞いたこともなかったジャズに手を出したんだと思いま す。これ、今聞くと大名盤なんですが、当時はそのすごさが よく分かってなかったはずです。



高校3年生の冬、受験の前日に買った CD

"Keith Jarrett

「Standards Live」"

よく分からないながらもジャズのレコードを何枚も聞き、解説本を読んだりしているうちにだんだん面白くなってきたのが高3の頃。ポータブル CD プレーヤーを友達から譲ってもらい、CDを買い始めたのもこの頃でした。大学受験前日、金沢の香林坊の「山蓄」に立ち寄って、輸入盤を漁っていて買ったこのCD。多分、人生で一番聞いたCDです。1曲目の「星影のステラ」のキースのアドリブ、すべて口ずさめます(笑)。



おすすめしたいCD

"上原ひろみ

「Spectrum」"

"…というわけで、これからジャズを聞こうという人にどんなものを薦めるか?なのですが、今も着々と進化中でまだお若い上原ひろみさんがよいかなあ…と。最新作の「Spectrum」はソロピアノ作ですが、上原さんのすごみを感じる快作です。

あと、彼女に関しては、ぜひ映像を見ていただきたい!福井 県出身の「レキシ」とコラボしたコンサート映像などおすす めです。"







大学以降、集めまくった CD 類

Bill Evans の諸作

大学入学後、バイトをするようになりCD蒐集に入れ込みました。福井駅前にあったフラミンゴレコードにはお世話になったなあ。就職してからも蒐集は止まらず…ということで、今は何枚あるのかよく分かりません(笑)。大学卒業のころ、1000枚を越えた辺りまではリストを作っていたのですが。たぶん大好きなピアニスト、ビル・エバンスの諸作はほぼ網羅してると思います。とりあえず最新のものを3枚持ってきましたが、家には彼のCDとレコードが40枚以上はある気がします。

最近はレコード回帰開始…

中古レコードを箱買いしたら…

最近はもっぱら Apple Music で音楽を聞いています。ジャズだけでなく、気になる曲を芋づる式に聞いて登録しているので、iTunes の音源、何万曲になったんだろう?実態が把握できなくなってきました。そのせいか、最近は実体感のあるレコードにも回帰しています。先日、オークションでレコードを箱買いしたら、奥さんにめちゃくちゃ睨まれました。でも、かつての名盤たちを大きなジャケットで手に持つ楽しさ…いいんですよねえ。

レコード再生に必要なパーツ

"オーディオテクニカ

「AT-33E」(カートリッジ)"

"レコードは、表面の小さな音溝を、これまた小さな針でひっかき、その振動を電気的に増幅させて音にします。この働きを担うパーツを「カートリッジ」と呼びます。今回は家にある6本のカートリッジの中で、一番派手なものを持ってきました。

今、世界でカートリッジを製造しているメーカーは、デンマークのオルトフォン社と日本のオーディオテクニカ社しかないはずですが、何とオーディオテクニカは福井県が発祥の地です。このカートリッジも池田町で作られたのかも。"